

埋文やまがた



2001年6月30日
第20号



鶴岡市鶴ヶ岡城跡 土留め石積みの調査状況

財團法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURE ARCHAEOLOGY CENTER

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301㈹ FAX 023-672-5586

平成13年度の事業概要

1 発掘調査事業

今年度の発掘調査は、山形県の農林水産部・土木部・健康福祉部・地域振興整備公団・県警察本部・国土交通省・日本道路公団からの依頼を受け実施します。16件の発掘総面積は68,780平方メートルになります。また、17件の整理・報告書作成も行われます。

平成13年度発掘調査一覧

No.	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	釜淵C遺跡	真室川町	縄文	集落跡	5/9~8/3
2	北島遺跡	村山市	奈良・平安	集落跡	5/9~6/13
3	小田島城跡（第5次）	東根市	縄文～近世	城館・集落	5/8~9/14
4	四ツ塚遺跡	河北町	奈良～中世	集落跡	5/14~6/15
5	二階堂氏屋敷	天童市	中世	居館跡	9/3~10/5
6	高瀬南・菖蒲江1・2遺跡	天童市	縄文～中世	集落跡	5/8~6/11
7	菖蒲江1遺跡	天童市	縄文～中世	集落跡	6/12~9/20
8	渋江遺跡（第4次）	山形市	古墳・近世	集落跡・墓跡	4/16~9/14
9	向河原遺跡（第4次）	山形市	平安	集落跡	7/10~9/4
10	山形元屋敷遺跡	山形市	古墳	集落跡	6/18~8/10
11	長者屋敷・坂ノ上遺跡	山形市	縄文・奈良・平安	集落跡	5/7~9/21
12	飛泉寺跡	小国町	中世・近世	集落跡	8/20~10/11
13	小山遺跡	長井市	奈良～平安	集落跡	4/23~7/19
14	北小屋屋敷遺跡	米沢市	古墳～近世	集落跡	5/7~8/3
15	栗子橋遺跡	米沢市	縄文	集落跡	調整中
16	川越石b遺跡	米沢市	縄文	集落跡	調整中

平成13年度整理・報告書作成一覧

No.	遺跡名	市町村	事業内容
①	鶴ヶ岡城跡	鶴岡市	報告書作成
②	中川原C・立泉川遺跡	新庄市	報告書作成
③	沼向遺跡	朝日町	報告書刊行
④	高瀬山遺跡（HO）	寒河江市	遺物整理
⑤	高瀬山遺跡（1期）	寒河江市	報告書作成
⑥	高瀬山遺跡（SA）・三条遺跡	寒河江市	報告書刊行
⑦	板橋1・2遺跡・的場遺跡	天童市	報告書作成
⑧	蔵増押切遺跡	天童市	報告書作成
⑨	砂子田・中袋遺跡	天童市	報告書作成
⑩	渋江・百目鬼・樋渡遺跡	山形市	報告書作成
⑪	向河原遺跡	山形市	報告書作成
⑫	馬洗場B遺跡	山形市	報告書作成
⑬	服部・藤治屋敷遺跡	山形市	報告書作成
⑭	志戸田繩遺跡	山形市	報告書刊行
⑮	石田・萩原・谷柏J遺跡	山形市	報告書作成
⑯	小松原窯跡	山形市	報告書作成
⑰	馳上遺跡	米沢市	報告書作成



2 研究・普及事業

埋蔵文化財保護に関する研究と保護思想の普及を目的とした活動を行います。

(1) 調査説明会

発掘調査の成果を広く県民に公開するために、調査された遺跡について現地で説明を行い、あわせて出土した遺物も展示します。

開催日時などは、当センターのホームページのほか、新聞・市町村広報などでお知らせします。



調査説明会（最上町かっぱ遺跡）

(2) 「縄文フェスティバル」・発掘調査報告会

12月2日(日)、山形市・ビッグウイングにおいて、「縄文フェスティバル」を開催します。

縄文時代のクッキー・衣服の製作や土器の復元等の体験コーナーを設けるほか、平成13年度に山形県内で行われた発掘調査の成果を写真やスライド上映を交えて報告し、また、出土遺物の展示もあわせて行います。



発掘調査報告会（平成12年度）

(3) 広報誌・年報の発行

広報誌『埋文やまがた』を年3回刊行し、県内の学校・公民館・図書館等に配布しています。個人で購読を希望される方は当センターの研究課までご連絡下さい。

調査成果など当センターの1年間の活動の概要をまとめた年報を、翌年度初めに刊行します。



センター内整理作業の見学

(4) 報告書の刊行

調査が終了した遺跡の報告書を順次刊行します。

(5) 出土文化財の保護と活用

当センターでは出土した文化財を活用するため次のようなことを行っています。

*特別収蔵室や整理作業のようすを見学することができます。

*小・中学校・高等学校等にセンター職員を派遣しての学校教育への支援・協力等を行います。

*希望により、出土文化財の展示会などへの貸し出しを行います。

(これらの詳細についてはセンターまでお問い合わせ下さい。)



出前授業（上山市立東小学校）

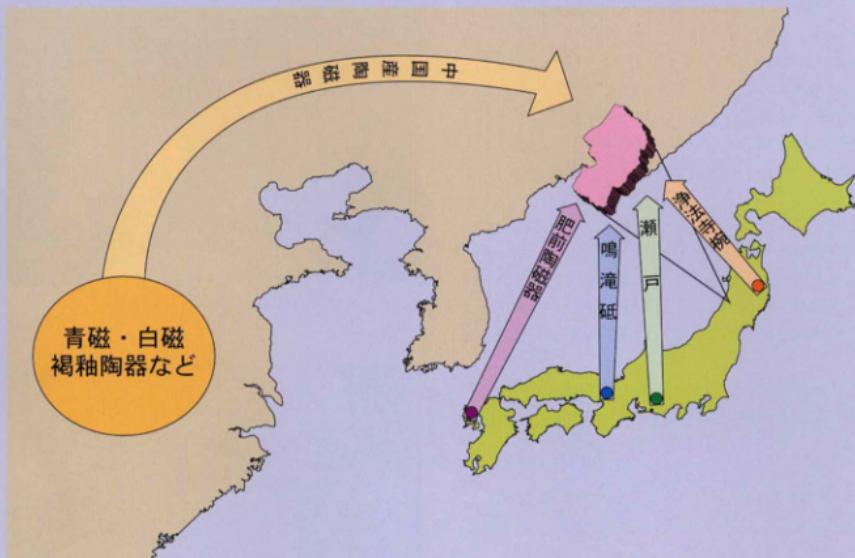
特集

山形県内へ移入されたモノ

～モノが動く・人が動く～

山形県内の遺跡で出土した遺物の中には、他県の原産のものや、他地域で生産されて山形県内に移入されたモノがたくさんあります。それらは、他地域との交流関係を知る貴重な手がかりになっています。

前回（第19号）は、縄文時代から古代までの遺跡について特集しましたが、今回はこれに引き続き、中世と近世の主な移入品を取り上げました。



時絵の椀

岩手県二戸郡淨法寺町で生産されたものであることから、淨法寺椀と呼ばれています。高台が高く、深みのある形状が特徴的です。内面は赤色漆、外面は黒色漆で塗られた後に金箔と黄色漆で文様が描かれています。江戸時代末に作られた製品です。

北前船での流通？

つるが おかじょう
鶴岡市鶴ヶ岡城跡

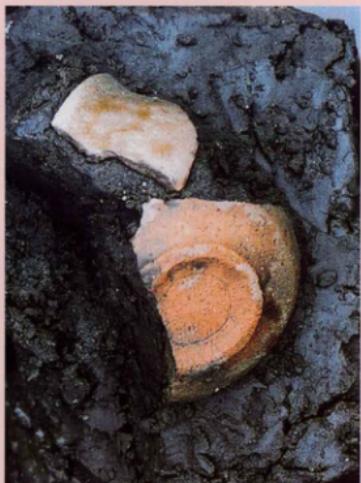


遺跡のあらまし

- ・鶴ヶ岡城跡は中世には武藤氏の居城で「大宝寺城」という名称でした。慶長6年(1601)に最上義光が庄内を加増された際に隠居城として整備し、2年後に鶴ヶ岡城と命名しました。
- ・2カ年行った調査の結果、二の丸堀跡や百間堀跡と土壘の基礎部が発見されました。特に、堀岸から土壘にかかる部分に、土留めのための石積みと杭列をめぐらしていることが新たにわかりました。

近世磁器

佐賀県伊万里で焼かれた鉢の出土状況です。内面には白地に鮮やかな青色によって、楼閣山水絵が描かれています。年代的には19世紀代のものと思われます。



近世陶器

上の写真は唐津焼の小壺で、堀跡から出土しました。佐賀県西部から長崎県一帯にかけて焼かれたものです。高台部分をのぞく内外面に釉薬がかけられています。16世紀末～17世紀前半の製品と考えられます。

戦国領主のくらひ！

おだじまじょう
東根市小田島城跡



遺跡のあらまし

- ・小田島城跡は一般には「東根城」として知られています。正平2年(1347)に小田島長義によって築かれたと伝えられ、寛文元年(1661)に廃城となりました。
- ・4カ年にわたる調査の結果、城にかかる堀跡や土星、それに石敷きの道路と考えられる遺構などが見つかりました。また、城ができる以前の縄文時代から平安時代の遺物も出土しています。



中国産陶磁器

写真は中国からもたらされた青磁・白磁・青白磁の食器類です。中には酒会壺や梅瓶などの、日常品というよりは権威を誇示するような製品も含まれています。これらは中国から直接移入されたのではなく、博多などを経由して県内へもたらされたと考えられます。遺跡からは12世紀～17世紀初めにいたる時期のものが出土しています。





瀬戸

現在の愛知県瀬戸市周辺で作られた器類で、中世において国内では唯一、釉薬をかけた陶器が焼かれていました。日常の生活で使う碗・皿といった食器や花瓶など、いろいろな種類があります。遺跡では本丸に近い場所から多く出土しており、14世紀後半～15世紀初めに作られたものが最も多いようです。



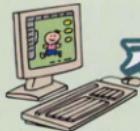
肥前陶磁器

中世末から近世初頭にかけて、朝鮮の技術を導入して、現在の佐賀県を中心に生産が始まりました。これまで流通していた瀬戸は、日本海航路を利用できる肥前陶器の唐津焼(写真上)に、また中国産の磁器は価格の面で有利な肥前磁器の伊万里焼(写真下)に、それぞれ急速に置き換わっていきました。これらの遺物は堀跡から大量に出土しています。



なるたまと 鳴滝砥

京都の鳴滝山で採取される仕上げ砥石の高級品です。刀や剃刀などを研いだと考えられます。これらは本丸に近い場所で、14世紀～15世紀の陶磁器と一緒に出土しています。



ホームページ開設しました

当センターでは5月17日、ホームページを開設しました。今まで、説明会の案内など電話でしか応対できなかったことが、インターネットを通じて、全国にしかも迅速に情報発信ができるようになりました。

コンテンツも充実しており、説明会を含むイベント案内をはじめ、今年度の発掘遺跡情報や整理遺跡情報、そして発掘調査の中身についてわかりやすく開設するページなど盛り沢山です。

みなさんからのアクセスをお待ちしています。



コンテンツの紹介

発掘調査情報 今年の発掘調査遺跡を紹介します。速報もお届けします。

整理作業予定 センター内で整理作業中の遺跡を紹介します。

イベント情報（説明会案内） 調査説明会の日程や各種研究会の情報を提供します。

THE NORING STONES 発掘調査の裏側を徹底取材します。

連載講座 山形県の考古学に関する話題をシリーズで提供します。

学校教育への協力 出前授業を中心にして学校の先生方へ授業のアイディアを提供します。

弁天秘宝館 センターで保管している出土品や構造の写真を公開します。

弁天掲示板 センターとみなさんをつなぐ掲示板です。書き込みをお待ちしています。

www.yamagatamaibun.or.jp

yahoo検索で「山形県埋蔵文化財センター」を打ち込むとヒットします。

メールでのお問い合わせは、

kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。

なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301 (代表)

▪ 编集後記 ▪



今年度の広報誌は、私たち8人が編集にあたります。限られた紙面ですが、企画・レイアウトに知恵を絞り、情報をわかりやすくお伝えしていきたいと思います。ご意見など、どしどしお寄せください。（新）